

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共溝渠維持補修				整理番号	631		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222701		連絡先電話番号	4633		昨年度整理番号	620	
係名		工務係		上位施策名				No				
予算事業名		公共溝渠維持補修		コード	60300		環境美化の推進				15	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		22年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法 第281条2項							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		公共溝渠(主に蓋掛けの水路)の利用者及び近隣の住民。		(2)							
	活動指標名(式)		(1) 維持管理面積		(3)							
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		公共溝渠のしゅんせつや土揚敷の除草を行う。		公共溝渠の排水機能を保全し、悪臭や蚊の発生の防止に努め適正な維持管理を図る。								
成果指標名(式)		(1) 維持管理面積		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
		(2)		(1) 維持補修対応率								
		(2)		(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	m <sup>2</sup>	19,967	19,967	19,967	19,967	19,967					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,478	2,525	2,526	2,142	0	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年度より、区作業員による道路の日常保全業務を外部委託化し、区職員作業量については削減した。なお、道路保全委託については、関連する既存の委託の一部を統合して組み込むことで効果的な運用を図ってゆく。このため、当事業経費の一部を道路維持補修に移管した。				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円	2,478	2,525	2,526	2,142	0					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.08	0.08	0.08	0.08	0.06					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	720	728	725	725		544			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	3,198	3,253	3,251	2,867	544					
	単位あたりコスト( - )÷	円	160	163	163	144	27					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	3,198	3,253	3,251	2,867	544					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)						
	除草しゅんせつ委託(委託等)		4,595		m <sup>2</sup>	2,142						
	その他	( )					0					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	84.8
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年度より、維持管理にかかる委託費を道路保全業務委託に統合するため、かかる経費は道路維持補修に取りまとめる。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公共溝渠は、昭和30～40年代下水道の普及時に残された柵渠、U形溝であり、蓋掛けにより、通路として利用されているものもあるが、未だに開渠のものもある。現在、柵渠、U形溝共かなりの老朽化が目立っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公共溝渠は区民にとって、日常生活を支える重要な歩行空間であるが、蚊の発生、悪臭などの環境面のもの、及び柵渠、蓋等の老朽化による破損など様々な要望や意見が寄せられている。					
	今後の予測	柵渠やU形溝の耐用年数及び環境問題等を考えると排水設備を設置したうえで埋立てを行ない、区民の生活を支える歩行系道路として機能の改善が求められてくると考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 公共溝渠の排水機能を維持保全し、悪臭や蚊の発生の防止をすることで、良好な生活環境を整えている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 現在の事業規模は最低レベルの維持管理であり、その必要経費の精査は実施済みである。 理由または具体的内容: 排水設備の設置等、公共溝渠の機能改善					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 当該施設は、区民全てが利益を得る類のもので、一部の利用者によりのみ応分負担を求める受益者負担にはなじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 定期的に工法及びコスト縮減に検討を重ねるなどの精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 実施計画を区で立案し、維持補修にかかる除草・清掃等の作業全般を民間事業者へ委託している。現行の役割分担が望ましいと考える。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 柵渠やU字溝で残された箇所について、コンクリートの耐用年数、環境問題等沢山の課題を抱えている。区民の日常生活を支える重要な歩行等の用に供する空間であり、安心、安全に利用できるよう、機能の改善が求められてくる。 また、従来の表面利用に加えて、今後は地中部分の有効な活用についても検討を行ってゆく必要がある。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 水路のあり方検討委員会を立ち上げ検討している。最終答申を受け、各タイプ別に、計画的な管理方針・事業計画を策定し、早急に実施してゆく必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 地中部分の活用については早急に検討結果をまとめ、必要な改良及び改修にかかる費用を計上する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		クリーン大作戦				整理番号	679		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	667	
係名 庶務係				上位施策名				No				
予算事業名 環境保全の推進				コード	65900		環境美化の推進				15	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例							
	区内の公共の場及び公共施設等				(2)							
	区内の公共の場及び公共施設等				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 秋期の1週間を中心に、自発的に参加する区内の団体・事業者・区民が、区内の公共の場・公共施設等を清掃することを支援する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内の公共の場、公共施設等のごみを収集し、落書きを消すなど、区内全域をクリーンな状態にする。								
活動指標名(式) (1) 参加団体数 (2) 参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不法投棄粗大ごみ処理件数 (2) 空き缶等の散乱状況調査(中杉通り) 毎年3月中の1日を調査								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		団体	183	179	200	187	200	220	85.0		
	活動指標(2)		参加者	11,464	10,567	13,000	11,668	13,000	14,000	83.3		
	成果指標(1)		件	3,424	2,852	2,500	1,685	2,500	2,300	73.3		
	成果指標(2)		個	402	198	190	174	190	180	96.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,387	536	1,500	452	1,500	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標のひとつ、17年度の不法投棄粗大ごみ処理実績が計画値及び過去の実績値に比べかなり低くなっているが、この理由としては9月4日に起こった集中豪雨によって発生した「水害ごみ」により処理したことが関係すると推測される。以上のことから18年度計画値及び22年度の目標値は変更せず、今後の動静を見守っていく。			
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0				
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15				0.15
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,349	1,365	1,359	1,359				1,359
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	2,736	1,901	2,859	1,811	2,859				
	単位あたりコスト( - ) ÷		円	14,951	10,620	14,295	9,684	14,295				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	2,736	1,901	2,859	1,811	2,859					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		ごみ袋購入					10,000	枚	186			
		参加団体傷害保険					1	契約	180			
		郵送料							86			
		その他 ( )							0			

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	93.5	活動指標(2)の17年度達成率%	89.8	17年度予算執行率%	30.1
		経費のほとんどは清掃用具の購入で、17年度は腕章・軍手は配布せず、ごみ袋のみを配布した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民等の声を反映し今年度よりごみ袋のみの配布とした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年々参加者は増加し、平成17年度は11668名、187団体と過去最高を記録した。今では、区民・事業者・行政の中に、秋期に実施する行事として定着している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	毎年参加者からは、「概ね好評」の声が届いている。ただし、年一回のみのイベントとしてではなく、複数回もしくは継続した実施を望む意見も多い。また、執行体制については、区役所が事務局の役割を担うことを望む声がある。					
	今後の予測	将来的には、クリーン大作戦の定着具合や環境配慮行動につながる意識の変化の具合をみて、廃止もしくはNPOへの事業の移行を検討する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例の浸透を図ることと地域環境の美化意識の醸成が可能となるとともに、環境からのまちづくりに寄与できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 環境配慮行動を理解し、実践する区民や事業者が増えるほど参加団体や参加人数は増えることになる。従来、各団体への呼びかけや広報紙、パブリシティ、ホームページなどで周知してきたが、今後は学校・事業所も含めPRの拡大を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 本来、環境美化は住民が行うべきものであり、清掃用具一切は住民負担で、行政はごみの収集運搬を無料で行うことが望ましい。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [補助金方式への切り替え] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 杉並環境ネットワーク等の環境NPOへ補助金方式により切り替えることで、コスト削減の可能性はある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 現状では、区民等は事業に対する「参加」の域を出ていない。地域住民が主体的に当該事業を行うことではじめて協働が実現する。今後は杉並環境ネットワーク等の環境NPOが主体となり事業を展開することが望ましい。区は、ごみの無料収集 人件費・資材購入費・事務費等の補助で支援していく。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 幅広い区内団体(学校・事業者含む)への参加呼びかけをきめ細かに行うことで、より多くの区民の参加を促すことができる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 より多くの事業者・団体・区民が参加することが当該事業の成果につながるため、限られた予算の中できめ細かいIPR方法を検討していく。その他、NPO法人杉並環境ネットワークと協働のための具体的な検討を開始する。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あき地等の管理指導				整理番号	680		枝番号					
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	668			
係名		生活環境担当				上位施策名		No						
予算事業名		環境保全の推進		コード	65900		環境美化の推進		15					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例									
	土地・建物の所有者及び管理者				(2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		あき地などの雑草等の除去に関する区民からの苦情・要望を受け、所有者・管理者に対し、適正な管理を指導する。		(3) 杉並区あき地等の管理の適正化に関する要綱									
活動指標名(式)		(1) 苦情・相談対応件数 (2) 冬期一斉調査件数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 不良な状態のあき地・空き家などをなくすことで、良好な地域の生活環境を維持する。										
成果指標名(式)		(1) 苦情・相談対応件数 (2) 冬期一斉調査件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 適正管理処置率 = 適正管理数 ÷ あき地数 (2)										
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画		計画		22年度			
指標	活動指標(1)		件	82		157		100		117		100		
	活動指標(2)		件	346		390		300		301		300		
	成果指標(1)		%	72		75		85		59		70		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13		47		150		13		150	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		
	(内)委託費		千円	0		0		77		0		77		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.95	0.30	0.90	0.35	0.90	0.35	0.90	0.35	0.90		0.35
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,544		8,190		8,154		8,154			8,154
		非常勤職員分		千円	828		1,008		1,012		1,012			1,012
	総事業費 + +		千円	9,385		9,245		9,316		9,179		9,316		
	単位あたりコスト( - )÷		円	114,451		58,885		93,160		78,453		93,160		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0			0
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	9,385		9,245		9,316		9,179		9,316			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		機器修繕費						1	件	13				
		その他 ( )								0				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	117.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.3	17年度予算執行率%	8.7
除草作業の委託実績はなかった。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初の要綱による指導から、安全美化条例の施行・改正により、代執行の明文化や委託制度の創設などが図られたことで、実行性を伴った指導が可能になってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	草木が繁茂する春から夏にかけて、あき地・空き家の不良状態に関する苦情が数多く寄せられている。現住家屋についても、草木・ごみにまつわる近隣からの苦情が持ち込まれることがある。				
	今後の予測	地域社会内での自主的な問題解決能力が低下している現状の中で、敷地・家屋を十分に管理できない高齢者の増加や雑草の花粉に過敏に反応する人の増加などの要因を考慮すると、区に対応を求める案件はますます増えると推測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: あき地・空き家の不良状態を解消することで、快適で美しいまちづくりの一端をになっている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容: 問題となる案件にはそれぞれ込み入った事情があり、手間ひまがかかるため、簡単に成果を向上させることは困難である。 理由または具体的内容: 区への委託の手法を活用することにより、効果が向上する可能性がある。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 原因者には直接的な利益はなく、一方、近隣住民、地域住民を受益者とみなすことには、おおよそ理解がえられない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 行政直轄で実施しなければ困難な側面のある業務であり、経費の大部分が人件費であることを考慮すると、コストを下げる余地はない。				
	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 原因者の個人的な事情を聞き取ったり調査した上での指導が主な業務であり、プライバシーに踏み込での対応が多く委託等になじまない。					
(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 管理台帳に登載されている案件だけで300以上あり、処理能力を超えているため、指導の対象とする案件の絞込みを開始する。区への委託制度の有効な活用を検討していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区への委託制度の活用による委託経費の増加。

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活環境の整備				整理番号	681		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	669	
係名		生活環境担当				上位施策名			No			
予算事業名		生活環境の整備		コード	65950		環境美化の推進			15		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		15 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例							
	区民、区内滞在者、区内通過者、区内事業者		(2) 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		(3)									
活動目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内全域で歩きタバコや吸殻・空き缶のポイ捨てをしないようにする。人に思いやりのある喫煙マナーを身につけるようにする。										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 路上禁煙地区数		(1) 吸殻数 = (中杉通り + 高南通り) の1日当たりの平均										
(2) 路上禁煙地区での1日あたりの指導数の平均		(2)										
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	箇所	4	6	6	6	6					
	活動指標(2)	回	336	144	100	79	100					
	成果指標(1)	本	359	267	250	280	250					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	40,798	16,966	45,850	34,052	50,920	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 事業経費実績の経年変化理由は以下のとおり。 15年度 = 美化条例全面改正による初期投資費(表示用品等経費)を含む。 16年度 = 運用経費のみ(初期投資経費なし)。 17年度 = パトロール経費の主管課配当開始(産業振興課による緊急地域雇用対策経費の終了)。 18年度 = パトロール方法の変更(人員増によるパトロール強化)。				
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円	12,379	7,935	29,794	24,874	36,708					
	職員数(常勤   非常勤)	人	3.00   0.20	2.00   0.20	2.10   0.20	2.00   0.10	2.10   0.20					
	人件費	千円	26,982	18,200	19,026	18,120	19,026					
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	26,982	18,200	19,026	18,120	19,026					
	非常勤職員分	千円	552	576	578	289	578					
	総事業費 + +	千円	68,332	35,742	65,454	52,461	70,524					
	単位あたりコスト( - ) ÷	円	17,083,000	5,957,000	10,909,000	8,743,500	11,754,000					
	財源	千円										
受益者負担分	千円	0	0	0	0	0						
国・都等からの支出金	千円	0	0	0	300	300						
特定財源計 +	千円	0	0	0	300	300						
差引: 一般財源 -	千円	68,332	35,742	65,454	52,161	70,224						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容		規 模		単位	事業費(千円)						
	環境美化パトロール(委託等)		一式			21,486						
	路面ステッカー等の補修(委託等)		一式			1,558						
	タバコ投げ捨て禁止ステッカーの掲出(委託等)		一式			900						
	その他	( )				10,108						

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	79.0	17年度予算執行率%	74.3
17年度も過料を適用しなかったため、関連経費が残となった。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年の条例施行以降、追加で路上禁煙地区を指定してきたことにより、現在、6箇所となっている。また、喫煙者対策としての喫煙所も順次、設置が進んでいる。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	路上禁煙地区以外では歩きタバコやポイ捨てが一向に改善されていない、という指摘がある。区内全域を路上禁煙にすべきだ、という意見が寄せられている。				
	今後の予測	喫煙者の意識はマナー向上の傾向を見せており、長期的には歩きタバコやポイ捨ては減少していくものと推測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 路上禁煙地区では顕著に歩きタバコ・ポイ捨てが減少しており、環境美化に目に見える貢献をしている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 様々な階層に絞った効果的な啓発活動を研究・実施できる余地がある。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 環境美化に伴う受益者の範囲が抽象的かつ広すぎて、現実的ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 最低限の経費で事業運営している。				
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 環境美化パトロールは全面的に委託している。ただし、パトロール隊員の資質の向上が必要である。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境美化パトロールのより効果的な手法・体制の検討を進める。関係団体と協働したキャンペーンを積極的に実施していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 大きく方針を転換する必要性は見当たらない。					



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		カラス被害対策				整理番号	702		枝番号				
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3706		昨年度整理番号	688		
係名		生活環境担当				上位施策名			No				
予算事業名		各種防除・指導		コード	66350		環境美化の推進			15			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		14年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区ねずみ・昆虫・有害鳥獣等防除指導要綱								
	区民				(2) 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		カラス110番を開設し区民からの相談を受け付けるとともに、4～6月の繁殖期に直接、人に対し危害を加えるカラスがいる場合、巣の撤去を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) カラスの脅威を除去することにより、安全で快適に暮らすことができるようにする。								
活動指標名(式)		(1) カラス対応での出勤件数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
						(1)							
						(2)							
区分	単位	15年度実績		16年度実績		17年度				18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	件	231	274	300	265	280						
	活動指標(2)												
	成果指標(1)												
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,706	660	4,394	1,168	4,377		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0						
	(内)委託費	千円	1,706	660	4,394	1,168	4,377						
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.90   0.80	0.90   0.80	0.90   0.80	0.90   0.80	0.90   0.80	0.90   0.80					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,095	8,190	8,154	8,154	8,154					
		非常勤職員分	千円	2,207	2,304	2,312	2,312	2,312					
	総事業費 + +	千円	12,008	11,154	14,860	11,634	14,843						
	単位あたりコスト( - )÷	円	51,983	40,708	49,533	43,902	53,011						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0					
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0					
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	12,008	11,154	14,860	11,634	14,843						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
17年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)							
	カラスの巣の撤去(委託等)		26		件	1,126							
	カラスの死骸処理(委託等)		4		回	42							
	その他 ( )					0							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	88.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	26.6
		区民からの苦情・要望に対する即時対応を重視した結果、困難な案件を除き、委託ではなく職員による対応処理となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		即時対応を重視した結果、委託件数は増えていない。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年ごろをピークに都内のカラスの生息数が急増したため、区においても平成14年度にカラス110番を開設し、対策を強化した。東京都のカラスの巣の撤去事業は平成16年度で終了し、現在、民有地に関しては、区が単独ですべての巣の撤去作業を担当している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	毎年、繁殖期になると苦情・相談や巣の撤去要請が数多く寄せられている。					
	今後の予測	カラスの生息数は減少傾向にあるとはいえ、そもそもカラスと人間の生活圏が重複している以上、抜本的な解決は困難で、今後も継続した対策が求められると予測できる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:カラスの脅威を取り除くことで、安全で快適な生活環境づくりの一端になっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:ほとんどの苦情・要望に対応し解決に至っている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:カラスの生息自体は都市の自然環境の一部であり生態系に組み込まれていることを考慮すると、民有地に巣を作ったからといって、その責を個人に帰すことは困難で、受益者負担の考えになじまない所がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容:外部委託件数を増やすことにより可能。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 現在でも職員では困難な案件に関しては外部委託を実施している。今後、機動性を確保しつつ、いかに委託案件を増加させるかが課題である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 前年度と比較して委託案件を確実に増加させていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 緊急避難的な対応が多いため、委託による場合は機動性に欠けるきらいがあり、サービスの低下を招くおそれがある。委託業者の選定及び連携方法を十分に検討する必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 大きく方針を転換する必要性は見当たらない。						